

## 廃食用油の従量制エコポイントシステム

2008年3月17日にオープンした三重県四日市市（内部地区）の「天ぷら油回収BOX」について紹介します。



<<回収BOX正面(投入口)>>

このプロジェクトは、行政＝市民＝事業者の協働により、実用化に成功しました。

市民は処分に困った天ぷら油などの廃食用油を回収BOXに持ち込むことで、わずらわしい廃油処分から開放され、さらに回収重量に応じて発行されるエコポイントで買い物ができる。

回収BOXの設置事業者は、集客効果が見込めるばかりでなく、廃油から精製されるバイオディーゼル燃料を自社の車両に再利用できる。

市当局は、廃油の焼却処分を省くことができ、環境負荷の低減にも貢献できることから、プロジェクトを後押しするという、3者協働の構図です。

そして、このエコポイントシステムを支えるのがクボタのデジタルロードセル(D-LC)です。持込まれた廃油は、D-LCシステムで計量され、1kg 当り30ポイントのエコポイントが発行されます。

そして、エコポイントはエコポイントカードに貯まっていきます。



&lt;&lt;クボタ D-LC 指示計 KS-C210&gt;&gt;



&lt;&lt;エコポイントカード&gt;&gt;

エコポイントが500ポイント貯まれば、500円分のギフト券と交換でき、JA三重四日市直営の「四季菜 内部店」で地元で収穫された新鮮な野菜や果物が購入できます。ちなみに、地域住民が地元の農産物を購入する「地産地消」により農産物の輸送距離を短縮し、CO<sub>2</sub>の排出を削減する温暖化防止効果も狙ったものとか。

回収された廃食用油は、伊勢市の業者によりバイオディーゼル燃料に精製され、回収BOXの設置事業者である三重古紙センターの収集運搬トラックの燃料として有効活用される予定です。

三重古紙センターの社長の談によれば、当初2～3ヶ月かかると見込んでいた約130kgの廃油が、わずか2週間で集まったとか。それだけ廃油の処分に困っていた住民の実情を浮き彫りにすると同時に、廃食用油回収エコポイントシステムの今後の普及に期待が持てますね。

わたしたちは、クボタD-LCシステムが、環境を考える地域住民のまんなかでお役に立てていることを誇りに思います。